

## 令和元年 7 月定例教育委員会 会議録

- |   |     |                  |     |    |          |
|---|-----|------------------|-----|----|----------|
| 1 | 日 時 | 令和元 7 月 26 日 (金) | 開 会 | 午後 | 2 時 00 分 |
|   |     |                  | 閉 会 | 午後 | 3 時 00 分 |
- 2 会 場 茅野市役所 704 会議室
- |   |      |      |       |        |       |
|---|------|------|-------|--------|-------|
| 3 | 出席委員 | 教育長  | 山田 利幸 | 同職務代理者 | 矢崎 靖雄 |
|   |      | 教育委員 | 小平 光子 | 教育委員   | 濱 勝之  |
|   |      | 教育委員 | 永嶋 陽子 |        |       |
- |     |         |       |          |       |
|-----|---------|-------|----------|-------|
| 出席者 | こども部長   | 有賀 淳一 | 生涯学習部長   | 平出 信次 |
|     | こども課長   | 五味 健志 | 学校教育課長   | 五味 正  |
|     | 幼児教育課長  | 五味留美子 | 中央公民館長   | 矢島喜久雄 |
|     | 文化財課長   | 両角 勝元 | スポーツ健康課長 | 中村 浩明 |
|     | 教育総務係長  | 立石 淳二 | 生涯学習係長   | 伊藤 研一 |
|     | 教育総務係主事 | 牛山 紘貴 |          |       |
- 4 傍聴者 3 名

## 7 月定例教育委員会次第

日 時 令和元年 7 月 2 6 日（金）午後 2 時 0 0 分から  
場 所 市役所 7 階 7 0 4 会議室

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

#### 第 1 号 教育長報告

#### 第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

#### 第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

### 4 議 案

今回はありません。

### 5 検討事項

今回はありません。

### 6 その他

（1）総合教育会議の開催について

（2）企業主導型保育事業について

（3）平成 3 0 年度保育所運営状況について

（4）教科書採択について

（5）保育園及び小学校の運動会日程について

（6）与助尾根遺跡の確認調査について

次回定例教育委員会日程について

8 月 2 8 日（水） 9 時 0 0 分「7 0 5 会議室」

（事務局会議 8 月 1 9 日（月） 9 時 0 0 分「4 0 1 会議室」）

### 7 閉会

教育長

只今から7月定例教育委員会を開催します。

前回6月の会議録の確認をします。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

報告事項に入ります。報告第1号をご覧ください。

7月1日に社会を明るくする運動のチラシ配りがありました。とくに高校生がたくさん通りましたが、大人より挨拶をしてくれたように感じます。

5日に茅野北部中学校出身の阿南高校の先生をされている方が海外青年協力隊として挨拶に見えられました。また、ロングモント派遣団結団式がありました。多くのことを学び、ロングモントとの交流を深めてくれるものと思います。

7日にファミリー演劇劇場がありました。市民館いっぱい人が集まりました。文化水準の高さを感じます。

9日に0123夏祭りがあり、150人の親子連れの方が参加されました。また、市長さんと森田先生の懇談会がありました。

10日に豊平小、米沢小の主幹訪問と茅野市と原村の健全育成大会がありました。

11日に保育所運営審議会がありました。10月からの保育無償化に向けた内容の審議でした。

12日にちの保育園で公開保育がありました。非常に大胆な実践で、校庭を川にするという試みでした。非常に良い実践だと感じましたが、立地条件等を考えると永明小中学校建設のときに道路は挟みますが、永明小中の環境と保育園をどのように結びつけていくのかということも1つの視点として考えなければいけないと感じました。

13日に中体連の卓球大会がありました。全県から39チームの参加がありました。また、永明小中建設設計者プロポーザルがありました。業者が決定となりました。

16日に議会の臨時会があり、副市長さんがここでご退任となります。

17日に市人権教育推進委員会がありました。また、北部中学校へ柳沢さんという方が皮で作った作品を寄贈してくれました。向川原校長先生からは是非地域の方々にも見ていただきたいとおっしゃっていました。北部中学校のランチルームまでの一階に展示してあります。

18日に山本学園が来訪されました。不登校の通信制高校を造るということでご挨拶に見えられました。また、民生児童委員会との懇談会がありました。

19日に副市長さんの引継ぎと広島へ行く子ども達の作文の表彰式がありました。8名の子ども達が表彰されました。

20日にロングモントのウェルカムパーティーがありました。また、茅野市美術協会の表彰式がありました。

22日に永明中学校でロングモントの交流会がありました。

23日に笹原保育園の提言への回答をしました。また、永明小学校でロングモントの交流会がありました。

24日に尖石有識者会議がありました。後ほど両角課長さんより説明があります。

25日に男女混合バレーボール全国大会出場報告会がありました。また、英語のサマーキャンプがありました。50名募集に対して70名の応募がありました。2年目ということで、ALTが全面的に関わってくださり、子ども達が去年と比べてさらに英語を使って話すようになったように感じました。

26日に中林忠良さんの展覧会開展式がありました。また、泉野月夜おはなし会があります。

27日に茅野高を発展させる会と泉野教育を考える会があります。

30日にロングモント出発式お別れ会、副市長退任式、自殺対策連絡協議会があります。

31日に新しい副市長さんの就任式、地域経営会議、旭市交流出発式があります。

報告第1号については以上となります。

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から7月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項について、ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、議案・報告事項は今回ありませんので、その他 1「総合教育会議の開催について」をお願いします。

学校教育課長

総合教育会議の開催についてですが、8月7日の16時から総合教育会議を開催します。内容については、来年度改定される新学習指導要領実施に向けた取組状況についてと、市長が考える今後の教育施策の現状と今後について、意見を交わしていただきたいと思います。尚、会議終了後に懇親会の席をご用意させていただいておりますので、ご予定をよろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

続いて、その他 2「企業主導型保育事業について」をお願いいたします。

幼児教育課長

その他 2 の資料をご覧ください。

茅野市内で美容業を経営する有限会社シャレンドから、企業主導型保育事業を実施するため、保育施設を開設するとの申し出がありました。

この保育施設開設に当たって、市は認可等の権限は有していませんが、定員管理において、企業枠のほか地域枠が設定されており、茅野市の幼児を受け入れる保育施設となりますので、事業等の内容について報告します。

尚、企業主導型保育事業は諏訪地域内で初めて開設される事業所となります。

企業主導型保育事業とは、子ども・子育て支援新制度のメニューの 1 つとして、平成 28 年度に「仕事・子育て両立支援事業」が創設され、企業等からの事業主拠出金を財源とする企業主導型保育事業がスタートしました。

企業が従業員の子どもの預かるために設置した保育施設であり、認可外保育施設に分類されます。内閣府から事業実施の決定を受けた団体がこの事業を行うことができます。

資料説明（その他 2）

#### 【概要】

- 1 企業主導型保育事業とは、子ども・子育て支援新制度のメニューの 1 つとして、平成 28 年度に「仕事・子育て両立支援事業」が創設され、企業等からの事業主拠出金を財源とする企業主導型保育事業がスタートしました。

企業が従業員の子どもの預かるために設置した保育施設であり、認可外保育施設に分類されます。内閣府から事業実施の決定を受けた団体がこの事業を行うことができます。

#### （1）事業の内容

- ①多様な就労形態に対応した保育サービスの拡大を支援するための仕組みであること
- ②市区町村による計画的整備とは別枠で整備が可能であり、設置の際や利用の際に市町村の関与を必要としないこと
- ③地域枠も自由に設定できること（利用定員の 50%以内）
- ④運営費や施設整備については、子ども・子育て支援新制度の小規模保育事業等の公定価格に準じた支援が行われること

（2）企業主導型保育事業のメリット

- ・女性をはじめとする従業員が、結婚、妊娠、出産、子育てというライフステージにかかわらず働き続けやすくなる。
- ・従業員のワークライフバランスに真摯に取り組む姿勢から企業の魅力が向上し、優秀な人材の採用・確保に有効
- ・地域の子どもを受け入れることにより、地域貢献に資する。
- ・子育てにやさしい企業であるとの企業イメージの向上につながる。

（3）設置の条件

- 設置主体 一般事業主（複数企業による共同設置や他企業と共同利用も可能）
- 届出等 都道府県知事に対し、認可外保育施設の届出が必要。  
整備費、運営費については、公益財団法人児童育成協会へ申請し、直接事業所へ助成されます。

○職員の配置基準

・保育従事者数

次の①から④までに掲げる区分に応じ、当該各号に定める数の合計に 1 人を加えた数以上とされています。

- ①乳児 おおむね 3 人につき 1 人
- ②満 1 歳以上満 3 歳に満たない幼児 おおむね 6 人につき 1 人
- ③満 3 歳以上満 4 歳に満たない児童 おおむね 20 人につき 1 人
- ④満 4 歳以上の児童 おおむね 30 人につき 1 人

- ・職員の資格 職員の半数以上は保育士資格を有することが必要。  
その他の保育従事者については、地方自治体や児童育成協会が行う「子育て支援員研修」や公募団体が行う研修を受講し、修了する必要がある。

○設備等の基準

- ・厚生労働省が定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の遵守  
例：定員 20 人以上の場合

- 【0・1 歳】 乳児室：1.65 m<sup>2</sup>/人、ほふく室：3.3 m<sup>2</sup>/人
- 【2 歳以上】 保育室又は遊戯室：1.98 m<sup>2</sup>/人

- ・厚生労働省が定める「認可外保育施設指導監督基準」の遵守

(例：給食に関する事項、健康管理・安全に関する事項等)

○その他

- ・保育所保育指針を踏まえ、保育を実施すること
- ・認可外保育施設として児童福祉法を遵守すること
- ・児童育成協会による指導・監査が実施される。

2 市内に設置される企業主導型保育園について

市内企業（有限会社シャレンド）が設置する、企業主導型保育園（名称：しゃれんどきっず園）の概要は次のとおり。

(1) 事業実施場所

茅野市ちの 2819 番地（横内地籍）

(2) 目的

企業主導型の事業内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、保育所待機児童の解消を図り、仕事と子育てとの両立に資することを目的とします。また、当社は美容という土・日・祝日も営業するサービス業のため、一旦、育児休暇等を取得すると企業の希望となかなか思いが合致せず、復帰することが非常に困難であることが問題視され、それを解決するためにこの事業を始めることとしました。

(2) 保育理念

知育・食育・徳育により、子どもの最大利益を導きます。

(3) 保育目標

- ・感性と想像力が豊かになる子ども  
(一人ひとりに寄り添い、絵本のひざ上教育で感性や想像力を磨きます。)
- ・心身ともに健康な子ども  
(子どもの健康をとことん考えます。)
- ・思いやりと優しさあふれる子ども  
(穏やかな雰囲気と綺麗な空気の環境で、子どもの個性を育みます。)

(4) 特色

- ・リトミック（幼児教育プログラム）や英会話指導を導入します。
- ・木の香りのするやさしい遊具を使用します。
- ・紙おしぼりで清潔さを保ち、感染症を予防します。
- ・安心安全な食材を使つての自園調理を行います。
- ・屋根付きのドライブスルーで、雨や雪の日の送迎も安心です。
- ・親御様向けの無料カフェを併設し、子育てコミュニティーの場を提供します。

- ・子どものお昼寝布団は園で用意します。

#### (5) 施設の概要

学年	配置基準	面積基準	定員数	算定面積	実面積
5歳	30:1	1.98×園児数	17人	33.66 m <sup>2</sup>	34.74 m <sup>2</sup>
4歳	30:1	1.98×園児数			
3歳	20:1	1.98×園児数			
2歳	6:1	1.98×園児数			
1歳	6:1	3.30×園児数	6人	19.8 m <sup>2</sup>	19.82 m <sup>2</sup>
0歳	3:1	3.30×園児数	6人	19.8 m <sup>2</sup>	20.13 m <sup>2</sup>
			実面積		
園舎面積			136.63 m <sup>2</sup>		
園庭面積			220.3 m <sup>2</sup>		

#### (6) 対象者等

- ①対象年齢 生後8か月から5歳児（当年度の4月1日の年齢）まで  
（初年度は生後8か月から3歳児まで）
- ②開園日時 週7日（土・日・祝日含む）  
7時30分から18時30分まで
- ③定員 24人（企業枠13人、地域枠11人）  
※施設規模としては、29人受け入れ可能ですが、募集は24人として  
います。
- ④給食 自園調理
- ⑤保育料 38,000円（お昼寝布団、給食、おやつ、ミルク代含む）  
入園料10,000円（お昼シート・スモック・運動帽子・文具等入園児  
に必要なものを含む）

#### (7) スケジュール

- 6/10 今年度入園説明会
- 6/24 入園受付
- 9/17 開園
- 10月上旬 来年度入園者説明
- 10月下旬 入園受付

### 3 市の関わりについて

市は認可等での関与はありませんが、地域枠による入所に対し、市が関わる必要があるため、次の事項について、連携、協力をしていくこととします。

- ・地域枠で当該施設を利用する者が保育の必要性の認定を受ける必要がある場合、他の保育所等を利用する場合と同様に認定事務を行います。

- ・保育士、調理員等の研修に当該施設の職員が参加できるよう、情報提供、案内等を行います。
- ・園運営等に関し、情報提供、相談等を行います。
- ・当該施設の空き状況、入所説明会及び入所受付の日程等の情報について、市窓口、広報誌、ホームページ等での情報提供に協力します。

幼児教育課長

企業主導型保育事業については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他 3「平成 30 年度保育所運営状況について」お願いいたします。

幼児教育課長

その他 3 の資料をご覧ください。

運営状況について、平成 30 年度の決算は、歳出において、北山保育園、小泉保育園の大規模改修工事（リノベーション）事業費、病児・病後児事業について、現在の事業受託者が継続して事業実施ができない旨の申し出により、令和 2 年以降の事業実施のための土地の購入等のため増額となりました。

歳入の内訳としては、保護者の受益者負担金としての保育料等が 16.6%、国・県負担金が 7.8%、その他の収入 1.1%が主な収入となっており、残りの 74.5%を市で負担しています。

歳出は、保育士等にかかる人件費が 44.7%、給食調理業務や保育所施設の維持管理のための管理費が 10.4%、民間保育園や広域入所にかかる委託費が 11.4%、保育材料費、賄材料費、保育所施設整備等の事業費が 27.3%、補助金等が 6.2%となっています。

決算額につきましては、2,313,698 千円となります。詳細につきましては、1 ページの下表をご覧ください。

続いて、2 ページをご覧ください。保育園等入所児童数についてですが、保育園等への入園児童数は、ここ数年増加傾向にありましたが、平成 30 年度の入園児童数は一転して減少となり、令和元年度も同様の状況となっています。このような状況の中、0 歳児については増加しました。

各施設の年齢別児童数につきましては、15 ページに一覧表がありますので、ご覧をいただきたいと思います。

続いて、保育園等の利用の仕組みについてとなります。保育の必要性の認定では、3つの区分の認定により利用先が決まることとなります。認定区分につきましては、こちらの表をご覧くださいと思います。平成 31 年 3 月 1 日現在の入所状況は 1 号認定が 305 名、2 号認定が 1,069 名、3 号認定が 404 名、私的契約児 2 名、合計 1,780 名が入所しました。認定を受けるための保育の必要な事由につきましては、下表をご覧ください。

続いて、保育料についてですが、今年度から保育料の無償化が始まります。これまでの保育料の考え方については、変更はありません。

6 ページをご覧ください。軽減状況についてご説明させていただきます。平成 30 年度における多子世帯への軽減状況ですが、国基準の多子軽減は 2 人目の対象者は合計で 120 人、3 人目の対象者は合計で 65 人となっています。年収 360 万円以上の世帯では 2 人目の対象者が合計で 299 人、3 人名の対象者が合計で 19 人となっています。

茅野市が独自で多子軽減をしている年収 360 万円以上の世帯は合計で 465 人となっています。

ひとり親世帯等、障害者等対象世帯の軽減につきましては、合計で 134 人が軽減となっています。

保育料の未納状況については、22 ページをご覧ください。平成 30 年度の保育料の未納額としては、現年度が 1,547,980 円、過年度が 8,251,890 円となっています。収納率については、現年度が 99.56%、過年度が 23.68%、合計で 97.32%となっています。29 年度と比較すると収納率は増加しました。

続いて、未納対策については様々な取り組みをさせていただいております。平成 30 年度における児童手当からの申出徴収については 14 人で 76 件、1,285,300 円となっています。児童手当からの特別徴収は 37 人で 152 件、1,829,220 円となっています。

続いて、特別保育事業についてご説明させていただきます。延長保育事業については、10 ページの一覧表をご覧くださいと思います。標準時間認定及び延長保育申込人数として、全園の中の標準時間認定者数が合計で 728 人、延長保育の申込者数は合計で 35 人となっており、毎年標準時間認定者が増加傾向にあります。昨年の 29 年度では 712 人だったものが、平成 30 年度では 728 人に増加をしている状況となっています。

一時保育事業について、平成 30 年度では小泉保育園のリノベーションに伴い、宮川第二保育園、米沢保育園の 2 園で実施をしました。その影響もあり、平成 30 年度は 2,082 人となり、前年度と比べて利用者数が減少する傾向となっています。

次に障害児保育事業については、平成 30 年度は障害児 40 名に対し、加配保育士 33 名で 1 日の加配保育士が 17 名、5 時間の加配保育士が 16 名として配置をしています。

病児病後児保育事業について、平成 30 年度の年度別利用状況は 318 人の利用者がいました。こちらも 29 年度と比較すると利用者が減少となっています。

続いて、特色ある保育園運営についてとなります。広域入所についてご説明させていただきます。市外の受託児童数については、合計で13人、委託児童数が合計で9人となっています。

保育サポーターについては、平成30年度は13名の方に活動していただきました。

一日保育士体験については、平成24年度から実施をしています。平成30年度の体験率は、父25.3%、母59.1%で平成29年度とほぼ同じ割合となっています。

保育園の運営状況については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いてその他4「教科書採択について」お願いいたします。

学校教育課長

今年度は、小学校の道徳以外の教科書採択年度となります。8月1日の13時30分からご審議をいただく予定となっていますので、よろしくお願いいたします。

教科書採択については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他5「保育園及び小学校の運動会日程について」お願いいたします。

学校教育課長

その他 5 の資料をご覧ください。1 ページ目に保育園の運動会日程、2 ページ目に小学校の運動会日程を記載させていただきました。それぞれ教育委員さんの参観者名を入れさせていただきますいております。ご都合の悪い場合は、保育園は幼児教育課へ、小学校は学校教育課へご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。

保育園及び小学校の運動会日程については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他 6 「与助尾根遺跡の確認調査について」 お願いいたします。

文化財課長

その他 6 の資料をご覧ください。与助尾根遺跡についてご説明をさせていただきます。

尖石遺跡と共に特別史跡に指定された与助尾根遺跡は、戦後間もなく宮坂英弼氏により発掘がおこなわれた縄文時代の集落遺跡で、後の縄文集落研究に大きな影響を与えたことで知られています。今回の調査は、平成 28 年 3 月に策定した「特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画」に従い、史跡の保護（保存）を目的とする確認調査として、令和元年 5 月から実施しています。

調査に至る経緯についてとなりますが、与助尾根遺跡がある台地西側の南斜面が、長年の凍上等により崩落しており、「保存管理計画」に早急に解決すべき課題として明記されました。

平成 28 年に文化庁の指導のもと調査をおこない、昭和 22 年に宮坂英弼氏が発掘した縄文中期住居址とみられる落ち込みを確認しました。平成 29 年に文化庁へき損届を提出すると共に、崩落面の保護について文化庁及び史跡整備有識者と協議をおこない、南側の谷にかけて 1/2 勾配で盛土を施すことを確認しました。

盛土工事の施工前に、崩落面に露出した落ち込みが宮坂先生の調査した住居址か確認する必要が生じました。また、宮坂先生が調査した住居址の位置確認に加え、周辺の地形や遺構の実態を確認し、史跡の適正な保護につなげるよう文化庁から指導を受けました。これを受け、令和元年度国庫補助事業として確認調査を実施することとなりました。

調査の概要については、人力で表土を剥ぎ取り、慎重に調査を進めた結果、崩落面に露出した落ち込みが、宮坂先生が調査した住居址であることが確認されました。また、住居

址の西側から縄文時代の住居址と落とし穴の可能性のある穴が新たに確認され、与助尾根台地に営まれた縄文集落や縄文時代の人々の土地利用に関わる新たな情報を得ることができました。

今後の調査の予定についてですが、7月23日に文化庁の調査官、翌24日に尖石史跡整備有識者から、発掘調査の進め方について現地で指導を受けました。これに基づき9月まで調査をおこない、住居址等の保存に資する情報収集に努めると共に、斜面保護の具体的な工事方法を検討していきたいと思っています。8月以降、現地説明会を開催する予定となっています。

与助尾根遺跡の確認調査については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

最後に事務局より次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回7月の予定になります。定例教育委員会を8月28日（水）午前9時から705会議室で行います。事務局会議については、8月19日（月）午前9時から401会議室にて行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。以上で7月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和元年 8 月 28 日

茅野市教育委員会          教   育   長

同職務者代理

委                  員

委                  員

委                  員

こ ども 部 長